



【会期】 2012年9月4日(火)～6日(木)
【会場】 法政大学小金井キャンパス
 (東京都小金井市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

「FIT 論文表彰制度」

FIT の特徴の一つは、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞、ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度にあり、以下のようにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文3件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文10件程度の中から受賞論文7件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2012 会期中) にて賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の1.5%を上限として、2012年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には賞金 3 万円を次回の FIT2013 の表彰式にて FIT 推進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2012Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。

【注2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注5】 FIT 査読付き論文でページ数が4ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。

【注6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が6ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程

- 登録申込/投稿受付開始 : 2012年3月7日(水)
- 登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2012年4月18日(水)
- 査読の採否結果通知 : 2012年6月22日(金)

- 論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ) : 2012年6月22日(金)
- 最終原稿投稿締切 : 2012年7月2日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は2～8ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約2か月遅くなります。

■申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2012年4月25日(水)

登録申込締切: 2012年5月24日(木)

最終原稿投稿締切: 2012年7月2日(月)

【募集分野】

以下の15の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集, FIT 査読付き論文の査読などは, 電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ, ◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ, ☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

● A: モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム(AL)

A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)

A-3 ☆プログラミング(PRO)

A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)

● B: ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)

B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)

B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)

B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)

B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)

B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)

● C: ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)

C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)

C-3 ☆組み込みシステム(EMB)

C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)

C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)

C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)

C-7 ※再生可能集積システム(RIS)

● D: データベース

D-1 ☆データベースシステム(DBS)

D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)

D-3 ※データ工学(DE)

● E: 自然言語・音声・音楽

E-1 ☆自然言語処理(NL)

E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)

E-3 ☆音楽情報科学(MUS)

E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)

E-5 ※音声(SP)

● F: 人工知能・ゲーム

F-1 ☆知能システム(ICS)

F-2 ☆ゲーム情報学(GI)

F-3 ※人工知能と知識処理(AI)

F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)

● G: 生体情報科学

G-1 ☆バイオ情報学(BIO)

G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)

G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)

G-4 ※医用画像(MI)

G-5 ※身体性情報学(IEB)

● H: 画像認識・メディア理解

H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)

H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)

● I: グラフィクス・画像

I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)

I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)

I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)

I-4 ※画像工学(IE)

● J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)

J-2 ※異文化コラボレーション(IC)

J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)

J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)

J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)

J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)

● K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

K-1 ※教育工学(ET)

K-2 ※サイバーワールド(CW)

K-3 ※マルチメディア情報ハンディキャップ・エンリッチメント(EMM)

K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)

K-5 ◇福祉情報工学(WIT)

● L: ネットワーク・セキュリティ

L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)

L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)

L-3 ☆システム評価(EVA)

L-4 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)

L-5 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)

● M: ユビキタス・モバイルコンピューティング

M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)

M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)

M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)

M-4 ☆高度交通システム(ITS)

M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)

● N: 教育・人文科学

N-1 ☆コンピュータと教育(CE)

N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)

N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

● O: 情報システム

O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)

O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)

O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)

O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

【使用言語】

日本語または英語

【論文ページ数・講演時間】

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度

FIT 査読付き論文ページ数：4～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文（論文誌推薦希望）：6～8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間：1 件 20 分（発表時間 15 分，質疑時間 5 分）

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文，FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（KIISE，大韓電子工学会，IEEE/Com. Soc.，IEEE/PHO，IEEE/MTT-S，IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM，IEEE，IEEE/CS，KIISE，CSI）の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み）〕

講演参加費は，基本原稿掲載料 2 ページ，講演料，聴講料，論文集 DVD-ROM，プログラム，参加章の代金を含みます。なお，DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが，プログラム，参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また，登録申込締切り後，講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くことに

なりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員（社会人）	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用（税込み）〕

エキストラページ（3 ページ目以降）を利用された場合には，講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費：1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代（FIT 査読付き論文の採択者のみ）（税込み）〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷（100 部）を御購入頂きます。別刷代は，エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には，御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り，8,000 円で，講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお，講演論文集の一般販売は，個人購入の場合 1 部 12,000 円，団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2012 に関する最新情報は，FIT2012Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

本会発行新刊案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス，フォトリソグラフィをはじめ種々の光技術は，今や社会を支える上でなくてはならない基礎技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し，光波利用の新しい着想を得たり，技術分野を切り開いていく上で，光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが，極めて重要である。

本書ではその基礎として，光波を電磁波として捉え，マクスウェルの方程式を土台に，平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には，電気系の大学卒業程度の知識を前提とし，大学院学生，あるいは，技術分野で活躍する社会人が，これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波／平面波の反射と透過／多層構造における反射と透過／フーリエ解析／応答とスペクトル／光波と媒質／複屈折／回折／ビーム波／光導波現象，導波モード／放射モード，その他のモード／種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員，学生会員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**